

# ぴーち事業所内評価

30年 3月 8日

		チェック項目	はい	どちらとも	いいえ	無回答	改善目標・工夫している点など
体制 環境 整備	①	支援や訓練などに使用するスペースは、利用定員に対して適切であるか	78%	11%	11%	0%	・言語の個別療育室がもっと増えるとよい。 ・来年度増室予定。
	②	職員の配置数は適切であるか	56%	44%	0%	0%	・お子さんの人数・特性にあわせ、臨機応変に対応している。 ・新年度、職員増員予定。
	③	施設の設定等について、バリアフリー化の配慮が適切であるか	89%	11%	0%	0%	・バリアフリーへの配慮はとられている。
業務 改善	④	業務改善を図り、多くの職員がモニタリング・支援検討会議などに参画しているか	56%	44%	0%	0%	・なるべく職員がそろって、出来るようにしている。
	⑤	アンケート等を実施し、保護者の意向などを把握したうえで、業務改善につなげているか	11%	78%	0%	11%	・アンケート結果を参考に、今後も検討・改善していく。 ・日常から保護者と話せる機会を大切にしていく。
	⑥	この自己評価の結果を、施設の会報やホームページ等で公開していく予定であるか	56%	22%	0%	22%	・ホームページ公開予定。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	11%	11%	44%	33%	・今のところ予定はないが必要であれば、今後検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	34%	44%	0%	22%	・研修に参加した職員が、全職員に周知できるよう時間をとっている。 ・全職員の意識向上を目指していく。
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画に利用しているか	78%	22%	0%	0%	・十分把握したうえで、計画につなげるようにしていく。 ・漏れがなく、より分析しやすいシートなどを検討している。
	⑩	活動プログラムの立案をチームで行えているか	34%	44%	22%	0%	・チームとしてまだ、協力体制が不十分である。 ・今後、全職員が意見を出し合えるような体制をつくっていく。
	⑪	活動プログラムは、楽しめるように工夫されているか	78%	22%	0%	0%	・今後も継続して楽しいプログラムを企画していく。
	⑫	平日、長期休暇など、利用時間に合わせた支援内容・課題が組み込まれているか	89%	11%	0%	0%	・静と動を意識してプログラムを組んでいる。
	⑬	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	78%	22%	0%	0%	・言語の個別指導も個々に応じて取り入れている。 ・集団療育、個別の時間とそれぞれに合わせ、プログラムを組んでいる。
	⑭	支援開始前には、職員間で打ち合わせをし、その日の内容や役割分担を把握できているか	22%	67%	11%	0%	・毎日の日課表にて、内容・役割・流れを確認できるようにしている。 ・全員がそろって確認し合える時間も意識してとっていく。
	⑮	支援終了後には、職員間で打ち合わせをし、その日の振り返りや共通理解をおこなっているか	0%	89%	11%	0%	・勤務体制もあり、十分な時間がとれていないので今後意識してとっていく。 ・子供の様子・環境や配慮事項等その都度確認をとりあっている。
	⑯	日々の支援に関して、適切な記録を心がけ、今後の支援内容・改善につなげているか	67%	33%	0%	0%	・記録の取り方にばらつきがあるので、記録のとり方も統一し、支援の向上につなげていく。 ・職員によって、視点が異なっているので、職員の質の向上もあわせて考えていく。
	⑰	地域の方や施設外の子供たちとも交流する機会が用意されているか	56%	22%	0%	22%	・児童センターや公園などで、地域の子たちとも交流する機会がある。今後も継続して取り入れていく。
	⑱	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しに役立っているか	89%	11%	0%	0%	・定期的に行っている。
	⑲	ガイドラインの総則を理解し、活動にいかせているか	33%	67%	0%	0%	・十分な把握ができていないので、徹底周知をしていく。

関係機関や保護者との連携	⑳	サービス担当者会議に参画し、相談支援員とともに現状の把握と理解に努めているか	34%	33%	11%	22%	・まだ十分ではないので、今後も意識して連携を図っていく。
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0%	34%	44%	22%	・現在該当者なし。 ・何らかの形で通院している子に対しては、主治医と連携をとれる機会を作っていけるように今後検討課題とする。
	㉒	学校との情報共有や連絡調整などは、随時行えているか	11%	56%	11%	22%	・十分行えていないので、どの学校とも連携を図れるように意識していく。
	㉓	就学前に利用していた施設と情報を共有し、相互理解を深められているか	0%	11%	67%	22%	・紙面上でしか情報を共有できていないので、今後意識して連携を図っていく。
	㉔	障害福祉サービス事業所などへ移行していくときには、支援内容や情報共有を心掛けているか	22%	45%	11%	22%	・不十分なので、今後連携を図っていく。
	㉕	専門機関と連携をし、助言や研修を受けているか	11%	56%	11%	22%	・まだ十分ではないが、助言・研修を受ける機会をつくっている。今後も継続して行っていく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害がない子どもと活動する機会があるか	67%	11%	0%	22%	・児童センター、公園などで交流する機会も持っている。
	㉗	地域の自立支援協議会等へ積極的に参加できているか	56%	11%	11%	22%	・定期的に参加している。
	㉘	日頃から、保護者と子供の発達や課題について、話しあっているか	56%	44%	0%	0%	・日々の過ごし方が中心になっていて、発達の課題までは掘り下げて話ができていることが多いので、今後全職員が意識をもってあたれるように調整していく。 ・職員によって偏りがあるので、意識の統一をはかっていく。
	㉙	保護者に対して、ペアレントトレーニングができているか	0%	22%	56%	22%	・できていないので、今後、お便りや集会開催などを検討している。
保護者への説明責任等	⑳	運営規定や支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか	45%	22%	11%	22%	・今後も漏れがないように、丁寧な対応を心掛けていく。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	22%	56%	0%	22%	・内容によっては、職員間で話し合い、後日適切な返答ができるように心がけている。 ・十分ではないので、今後意識しておこなっていく。
	㉒	保護者同士の連携を意図的に用意できているか	0%	11%	67%	22%	・保護者の集まりなどを企画できていなかったため、今後懇談会や勉強会など工夫していく予定である。
	㉓	子どもや保護者からの苦情に迅速かつ適切に対応できているか	22%	44%	12%	22%	・十分ではないので、今後気を付けて対応していく。また、苦情に繋がらないように、日々の対応を丁寧に行っていく。
	㉔	施設での行事予定・連絡や確認など、必要に応じて発信できているか	78%	0%	0%	22%	・びーちだよりや送迎時などに、もれがないよう伝えている。
	㉕	個人情報に十分配慮できているか	100%	0%	0%	0%	・毎年個人情報に対する同意書をいただき、確認している。
	㉖	障害がある子供や保護者との意思の疎通や伝達のための配慮をしているか	56%	44%	0%	0%	・十分ではないところもあるので、今後意識して対応していく。
	㉗	事業者の行事に地域住民を招待する等地域で開かれた事業運営を図っているか	34%	22%	22%	22%	・「親子マッサージ教室」「子ども食堂」など地域に向けた発信はしている。 ・まだ、十分ではないので、今後も新しい企画を取り入れていく。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	0%	67%	11%	22%	・マニュアルは作成しているが、十分な周知には至っていないので、今後契約時などに行っていく。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っているか	89%	11%	0%	0%	・年2回は行っている。 ・今後、子供たちとの訓練も定期的に取り入れていく。
	㉒	虐待を防止するため、職員に研修の機会を取り入れるなど、適切な対応ができているか	100%	0%	0%	0%	・施設内研修を行い、理解と知識獲得を行っている。
	㉓	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか	56%	44%	0%	0%	・身体拘束については、契約書などで保護者にも周知している。 ・現在は、まだ拘束するような状況がないため、今後も環境面・体制面など配慮しながら、対応していく。
	㉔	食物アレルギーのある子どもについて、保護者に確認して適切な対応をしているか	44%	56%	0%	0%	・アレルギーの程度も変化していくため、今後もその都度確認をとりながら対応していく。 ・アレルギー対応指示書の写しなどを預かり、職員全体で把握するように心がけていく。 ・緊急事態への対応も保護者と確認をとっていく。
	㉕	ヒヤリハット事例集を作成して、施設内で共有しているか	78%	22%	0%	0%	・インシデント・アクシデント報告事例により、周知している。

上記のように、施設内でも事業所評価を行いました。今後活かしていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いします。